

それが文化なのか個人差なんかはわからないけど、とにかくエネルギーを感じました。印象的だったのは、インドネシアのバジャウ族。海の上で生活する人たちで、いつもみんな穏やかで笑顔なんです。「どういうときが幸せって感じる?」って聞いたら、「意味がわからない」と答えるんですよ。幸せや不幸の概念がなくて、「今日は魚が家族分獲れたからよかったです」、獲れなかつたら「明日また獲る」ってそんなふうにその日を笑顔で生きているんです。

みやぞんさんのお母様も、とてもパワフルな方だとか。

す。人と比べない、自分たちの尺度で生きている姿がカッコよかったです。家族や幸せのかたちって、本当に国や人によって全然違うんだなって実感しました。

みやぞんさんのお母様

も、とてもパワフルな方だとか。

ました。それくらい、あたたかくて、仲良くて、支え合つてました。

母ちゃんはテストの点なんて気にしません。「笑顔でいいやいいのよ」「あなたなら大丈夫」って言ってくれていました。だから劣等感なんて感じたことがなかったです。母ちゃんのくれた言葉と愛情が、今の僕の自信の根っこにあるんだと思います。何かに挑戦するときは、「自分ならできる」って思うし、そうしてみたら意外とできちゃうものです。だから、自分を信じるって本当に大事なんだなって思いました。考えるより、直感。最初



にピンときたものがたいてい正解なんですよ。人と比べる必要なんてないし、自分の幸せは自分で決めていい。それでいいんだと思います。

みやぞんさんが大切にしていることは?

テレビで僕を見て、少しでも心が軽くなったり、前向きな気持ちになってくれたらという気持ちでやってます。僕がかかつてジャッキー・チエンから勇気をもられたように、「なんか元気出たな」って思つてもらえたから嬉しいです。

僕は、目の前に起こることには全部意味があると思っています。何かに挑戦するときは、「自分ならできる」って思えるとは思つていません。必ず意味があるて諦めたら、自分を信じるって必ず良い結果になるし、もし乗り越えられたなら、人に勇気を与えるよう

なことができるんだと思っています。

だから、僕は「楽しんで乗り越える」ことを大事にして

います。思い通りにいかないことや、人からいろいろ言われることも出てくるけど、どうやつたら自分が楽しくなるかを考えるのが大事。

人と比べる必要なんてない。僕は英語が全然しやべれないんだけど平氣です。だってしゃべれる人と一緒にけばいいだけですから。人の評価や周囲の声に無理に合わせる必要なんてなくて、「自分がどうしたいか」を、自分の感覚で決める。自分を信じて笑顔で楽しく生きていくことを大切にしたいんです。

たった一度の人生、自分らしく生きなきゃ、もつたいないですよ。

※このインタビューは、令和7年7月15日に行いました。

